

質疑(応答記録)

公告No. : No.7

公告日 : 平成27年3月30日

工事名(件名) : 市立四日市病院高精度放射線治療棟増築工事(建築工事)

整理番号	図面番号	質疑事項	回答
1	A-001	1章一般共通事項7で交通誘導員の配置人員が明記されていません。先行工事エリアと本体工事部分の期間は、それぞれ何ヶ月計上すれば宜しいですか。	特記に示すとおりです。
2	参考数量表	共通仮設工事費に水替え工事管理運営費が計上されていますが、規制や仕様があれば指示願います。	規制や仕様の制限はありません。
3	A-104	外構 磁器タイル150角、メッシュフェンス、門扉とあります。施工範囲を指示願います。	磁器タイル150角は該当はありません。 メッシュフェンス、門扉は屋外階段の1階にあります(A-112図)
4	A-304 A-001	現場事務所・工事用車両駐車場は、工事ヤード外で使用できますか。また、その際の料金を教えて下さい。	現場事務所は工事ヤード内に設けるよう考えています。工事用車両駐車場については、工事ヤード内及び当院の管理地外で確保して下さい。料金については、施工者負担となります。
5	A-225	放射線遮蔽工事の専門参考業者があれば、教えて下さい。	参考の業者を教えることは、できません。
6		地業工事において、杭芯ずれの許容値がA-001では、100mm以下、S-001では、150mm以下となっておりますが150mmを正としてよろしいでしょうか。御指示下さい。	100mmを正とします。
7		地業工事において、A-001では、砂利地業厚が60mmと記載がありますが、S-001は、50mmと記載されております。S-001の50mmを正としてよろしいでしょうか。	60mmを正とします。

質疑(応答記録)

公告No. : No.7

公告日 : 平成27年3月30日

工事名(件名) : 市立四日市病院高精度放射線治療棟増築工事(建築工事)

整理番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
8		コンクリート工事において、基礎・躯体コンクリートの設計基準強度が、A-001では21N/mm ² 、S-002では、24N/mm ² となっております。又、耐久設計基準強度F _d が30N/mm ² という記載がありますが、調合管理強度は、30N/mm ² +強度補正值28S9と考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。	24N/mm ² を正とし、強度補正值を加えることとします。
9		コンクリート工事の基礎、躯体において、同一フロアでの異種セメント使い分けが記載されておりますがフロア単位でのコンクリート配合統一を行わなくて良いと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	マスコンクリートとする範囲と、それ以外の部分でそれぞれ統一することとします。
10		S-001では、柱の帯筋(フープ)形状がスパイラルフープ型と記載があり、S-016ではタガ型と記載がありますが、タガ型と考えるとよろしいでしょうか。	よろしいです。
11		S-006のひび割れ誘発目地の仕様に記載がある、ひび割れ誘発角鋼は水平目地には不要と考えてよろしいでしょうか。又、化粧目地には適用しないと考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。	鉛直・水平共にひび割れ誘発角鋼は適用しません。
12		1階、PS/EPSの床点検口がA-107とS-010で相違がありますが、A-107を正としてよろしいでしょうか。	よろしいです。
13		1階、2階の一般部分のスラブコンクリート天端がFL-10mmとなっておりますが、床下地がコンクリート直均しとなっておりますので、FL±0-仕上げ材厚みまでコンクリートを打設するといった考えと解釈してよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

質疑(応答記録)

公告No. : No.7

公告日 : 平成27年3月30日

工事名(件名) : 市立四日市病院高精度放射線治療棟増築工事(建築工事)

整理番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
14		放射線防護工事において、監督官庁への申請、及び放射線漏洩測定は別途と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
15		A-106において、2階汚物・洗濯室・リネン(不)の壁仕上げがW-3, FK+NADと記載してありますが、FK+NADを正としてよろしいですか。御指示下さい。	よろしいです。
16		壁下地、L-4においてA-104ではグラスウール不要となっておりますが、A-217では記載がされております。グラスウールは不要と考えてよろしいでしょうか、御指示下さい。	A-104図を正とし、グラスウールは不要とします。
17		A-202図のWWC1にL-9, PS/EPSIにL-1bと壁の仕様が記載されておりますが、仕様の詳細が不明です。詳細の指示をお願いします。	L-9はL-7に、L1bはL1(コンクリート打放しのまま)に、読み替えることとします。
18		壁下地において、L-2a・L-4・L-6・L-7・L-8以外の壁下地は、スラブからスラブ(梁)下まで軽量鉄骨及び石膏ボードを設けると考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
19		建具工事において、1階SSD-1及び2階AW-5・9・12は既設棟に隣接しておりますが、防火設備の仕様となっております。防火設備適用外と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
20		A-214図において、LSD-7にガラリ形状 I 型と記載がありますが、サイズ・位置が不明となっております。御指示下さい。	ガラリは、無しとします。

質疑(応答記録)

公告No. : No.7

公告日 : 平成27年3月30日

工事名(件名) : 市立四日市病院高精度放射線治療棟増築工事(建築工事)

整理番号	図面番号	質疑事項	回答
21		A-003、16章建具工事にガラス飛散防止フィルム内面張りの記載がありますが施工範囲及び箇所が不明です。御指示下さい。	建具表に記載有る建具のみ施工とします。
22		A-219図に床見切り(D-36)の記載がありますが、設置個所が不明です。不要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。(建具表における踏摺K2は必要とします)
23		A-219、D-38 視覚障害者用誘導ブロックの設置個所は屋内階段のみと考えてよろしいでしょうか。又、ステンレス製点字鋸ではなく、成型シート張りと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
24		A-301図において、アスファルト舗装(表層のみ)撤去の時期は建物外部足場解体後の外構工事をおこなう際に撤去する計画で検討しております。別途工事(設備関係)上、上記時期より早く撤去を行わなければならないことが発生するでしょうか。御指示下さい。	添付図1に示す、建築機械設備における排水工事です。撤去の時期については、建築機械設備の業者と協議のうえ決定することとなります。